

酒井 陽介

神学部 神学科 准教授 (さかい ようすけ)



研究テーマ

宗教心理学（心理学と信仰の統合と比較研究）、人間と霊性、現代のスピリチュアリティ、物語分析による人物研究、現代におけるイグナチオ霊性

主な授業担当科目

キリスト教人間学、キリスト教の霊性、キリスト教入門

学歴・職歴・取得学位・受賞歴

2002/3/31 上智大学神学部神学科卒業（神学士） ■ 2009/5/11 教皇庁立グレゴリアン大学(Pontificia Università Gregoriana) 心理学研究科修士課程修了（心理学修士） ■ 2018/7/9 教皇庁立グレゴリアン大学(Pontificia Università Gregoriana) 心理学研究科博士課程修了（心理学博士）

主な著書・論文等

『ヘンリー・ナウエン —傷つきながらも愛しぬいた生涯—』（ドン・ボスコ社・2008年） ■ 『霊性 光り輝く内なる言葉』酒井陽介[他]著（教友社・2017年） ■ 『和解と交わりをめざして』(2017年上智大学神学部夏期神学講習会講演集) 酒井陽介[他]著（日本キリスト教団出版局・2018年） ■ 『今日のパン 明日の糧』H.ナウエン著、酒井陽介解説（日本キリスト教団出版局・2019年） ■ Self-Transcendence in the Life of Pedro Arrupe, SJ -A Narrative Inquiry into His Writings-（博士論文 Pontificia Università Gregoriana・2018、他

所属学会

日本基督教学会、日本宣教会、日本宗教学会、上智人間学会

教育・研究活動

宗教心理学専攻。特にキリスト者の召命と人間学を学際的（心理学、神学、哲学、社会学）に研究し、臨床的に同伴してきました。キリスト教信仰を生き、証した人物研究に関心があります。ヘンリー・ナウエン、ペドロ・アルペ、トマス・マートン、そしてドロシー・デイなど特に、現代のキリスト者の人生の歩み（人間の成長）と霊性（霊的発達）に関心を持っています。若者の霊性に関心があり、青年司牧に関わっています。そして、大学院実践宗教学研究科で、宗教的人間論の演習科目も教えています

趣味・学生に伝えたいこと

旅行、散歩、サイクリング、料理（パスタ料理など）

読書や仲間との出会いと交わり、そして、様々な体験を通して、深く人間（自分と他者）と信仰を見つめ、学んでください